

北の輝く女性応援会議における取組について

I 平成30年度取組等について

1 リンケージメッセージ

個人・団体を問わず、それぞれの立場で、頑張っている女性、頑張りたい女性、全ての女性にエールを送る。

※ 平成30年3月～12月末現在 20件（うち応援会議構成員から5件）のメッセージが寄せられている。（平成30年3月から開始のため、一部平成29年度分を含む）

【メッセージ実例】

リンケージメッセージ	社会一般へ	北海道経済連合会
<p>北海道では人口減少、過疎化が急速に進み、地域経済の活力低下などの深刻な問題に直面しています。従って、私たちには、大切な役割として、活力ある「北海道」を次世代に引き継いでいくことがあると考えています。</p> <p>人口減少に立ち向かうために、「北海道」を老若男女が分け隔てなく生き生きと活躍できる社会にしなければならないと思います。中でも、女性が、様々な分野で男性と平等に力を発揮できることが、活力ある「北海道」を維持するための強力な支えになると思います。</p> <p>北海道経済連合会は、企業の中で、女性が結婚や出産後も働き続けられる職場環境、そしてパートナーの男性も育児を担い、また十分に支えることが出来る職場風土の醸成に努めていきます。女性も男性も、出産と育児、そして仕事を、安心して楽しむことができる「北海道」を実現しましょう。</p>		

リンケージメッセージ	社会一般へ	北海道商工会連合会
<p>一般に企業活動における経営資源は、「人・物・金・情報」と言われ、これらの資源を適正に配分し有効活用することで経営力が高められるものであり、資源を持っているだけでは成長することが出来ません。</p> <p>中でも人的資源の位置づけは特に重要であり、人手不足へ対応した人材確保はもとより、人が持つ高い技術力やノウハウなども、情報資源の一部であるとも言われています。</p> <p>このため、企業がより成長するためには、多様な視点やセンス・価値観などを持った人材の活用が必要であり、経営戦略としての女性の活躍推進が求められていると思います。</p>		

リンケージメッセージ	働く女性へ	匿名
<p>私は、看護職として就職してからずっと働き続けて、その間、結婚をし、子どもを3人産み育て、数度の転勤もしました。同じように頑張ってきた仲間もたくさんいます。無事過ごしてきた要因は、自身の心身の健康と夫の協力、保育園や学童保育所、子どもの塾、家事支援など多くの関係者や職場の好意、そして友人達の支えなど、どれも欠かせないものでした。自分の職業へのこだわりも、芯となっていたと思います。働きながら、家庭生活を維持していくことは決して楽ではありませんが、苦勞を乗り越えた充実感も得られ、協力しあった人たちとの心の交流も財産となっています。これは、時代を超えても変わらないと思いますので、働く女性の皆さん、しなやかに、豊かに頑張りましょう。</p>		

2 北の輝く女性応援会議ポスター作成

オール北海道で女性の活躍を推進することを広く一般に周知するために、北の輝く女性応援会議ポスターを作成する。(別添のとおり)

3 北の輝く女性応援会議名義後援

北の輝く女性応援会議構成員の関係団体による女性活躍の気運醸成に係る各種行事に対し、「北の輝く女性応援会議」名義による後援等を行う。

○後援実績(13件:H30.4~H30.12)

開催日	事業名	主催者	参加人数
4月~3月	HATAJO(北海道で働く女性)ラボ	北海道新聞社	-
7月26日	第6回女性の活躍推進セミナー	第一生命保険株式会社北海道営業局	71人
8月~2月	子育て女性再就職応援事業 再就職セミナー&交流会・職場チャレンジ・ママのお仕事説明会	北海道	-
10月~常設	女性の多様な働き方支援窓口「ここシェルジュSAPPORO」	札幌市	-
10月~11月	平成30年度女性の社会参画の実例を見て学べるイベント「アクションHIROBA」	北海道	230人
10月~2月	札幌市男女共同参画センター「ワークライフ支援事業」	札幌市男女共同参画センター	-
10月22日	女性の活躍推進に係る地域連携セミナー	オホーツク総合振興局	42人
10月26日	女性の再就職・チャレンジ支援セミナー	二セコ町	11人
10月29日	Girls Be Ambitious 2018 ~女性起業家×企業マッチング~	North-Woman	80人
11月5日	平成30年いぶり地域労働問題セミナー	胆振総合振興局	17人
11月14日	第7回女性の活躍推進セミナー	第一生命保険株式会社北海道営業局	45人
11月14日	建設産業女性活躍推進セミナー	北海道	39人
11月22日~23日	さっぽろ女性応援 festa	札幌市	293人

※参加人数については、事業終了分のみ掲載

4 女性の活躍応援自主宣言

北の輝く女性応援会議において発出した女性の元気応援メッセージの趣旨に賛同する団体・企業等がそれぞれの立場で女性活躍を支援する取組を宣言する。

○宣言数 総数：295件（H27.2～H30.12）

H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
4	55	161	21	54

○業種別

区分	団体数
民間企業	257
商工業・製造販売関係	14
建築・土木関係	209
電気・IT産業関係	12
金融関係	7
その他	15
財団法人・社会福祉法人	13
教育機関・幼稚園・保育園	5
労働組合	3
NPO法人	4
その他任意団体等	10
自治体・行政機関	3

○主な宣言内容（重複計上あり）

区分	団体数
① 職場環境の改善を掲げているもの	158
② 女性管理職の登用、採用・職域拡大等に関するもの	143
③ 出産・育児・介護などの支援、復職に関するもの	55
④ 両立支援（ワーク・ライフ・バランス）に関するもの	82
⑤ 男性の育児参加・時間外勤務縮減に関するもの	14
⑥ 具体的な数値目標や期限を設定しているもの	34

○自主宣言実例（株式会社ツクイ）

- (1) 女性の管理職への登用について、今後も35%以上を維持し続けるとともに、個性や能力をより発揮できるよう、その活躍の職域拡大に取り組んでいきます。
- (2) ライフステージの変化により、職場を離れた人材について「ジョブリターン支援制度」の利用促進を行い、その復職を支援するとともに、再び女性がイキイキと活躍できる職場づくりを行います。
- (3) 介護や育児をしながら、仕事と家庭を両立できるよう福利厚生拡充に努め、女性が輝く社会の実現に向け、活躍し続けることができる働きやすい職場環境を創っていきます。

Ⅱ 今後の取組について

1 新規実施事業（案）

女性活躍推進セミナーの開催

女性活躍推進に向けた気運醸成・意識改革を推進するため、来年度「北の輝く女性応援会議」主催として初めて、「女性活躍推進セミナー」を実施する。

平成27～28年度に開催した「女性の活躍推進セミナー」は、主催北海道、共催北の輝く女性応援会議として実施。対象者も北の輝く女性応援会議構成団体等に限定していたが、新規事業では主催を「北の輝く女性応援会議」とし、対象者も企業の経営者や管理職等に広げたものとする。

- (1) テーマ
「男性も女性も働きやすい社会づくり」、「育児と仕事の両立」、「介護と仕事の両立」、「ワークライフバランス」、「ダイバーシティ」等
- (2) 主催
北の輝く女性応援会議
- (3) 参集範囲
企業の経営者・管理職、一般の方
- (4) 構成
基調講演、トークセッション
- (5) 場所
札幌市

参考：女性の活躍推進セミナー（北海道主催、北の輝く女性応援会議共催）

平成28年2月23日開催

講演「女性活躍の現状」 講師：畠山 貴晃 氏

講演「女性も男性もいきいきと働き、ともに活躍する活力ある北海道」

講師：渥美 由喜 氏

平成28年10月19日開催

講演「個人・組織としてのワーク・ライフ・バランス」

講師：中田 美知子 氏

2 継続実施事業

- (1) 北の輝く女性応援会議担当者ワーキングチーム会議の開催
- (2) 北の輝く女性応援会議後援名義の活用
- (3) リンケージメッセージ募集の継続